

小郡市教育委員会から保護者の皆様へ

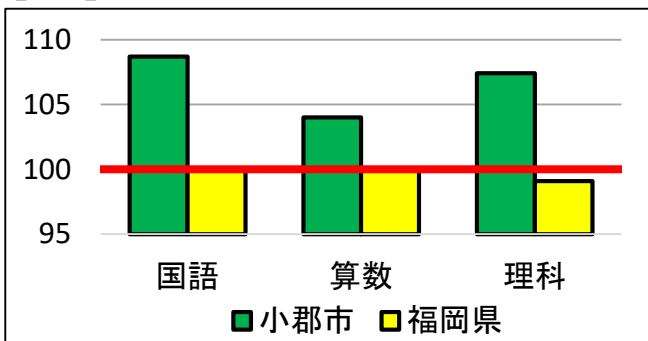
文部科学省は、小学6年生と中学3年生を対象に令和4年度「全国学力・学習状況調査」を4月に実施しました。全国、福岡県と比較した小郡市全体の概要と今後の取組についてお知らせします。

小郡市では「未来に向かう『心』」を中核とし、「生きて働く『知』」「健康でたくましい『体』」のバランスのとれた育成をめざして教育活動を進めており、調査結果を今後の取組の改善・充実に生かしてまいります。また、今回の調査は「生きて働く『知』」の学力の一部を測るものであることを踏まえて、ご覧ください。

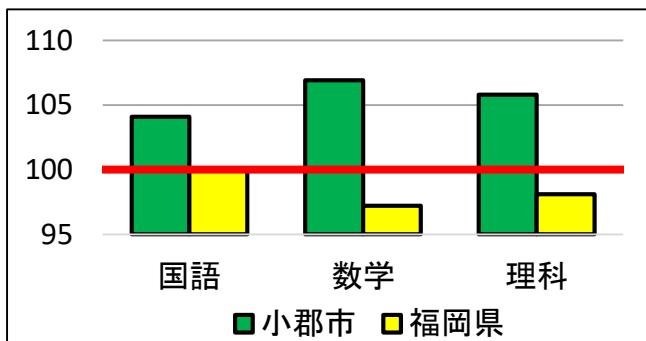
令和4年度全国学力・学習状況調査結果

※全国の平均を100として表記(横の太線が全国平均) ※理科は3年に1回の実施

【図1】 【市内小学6年生】



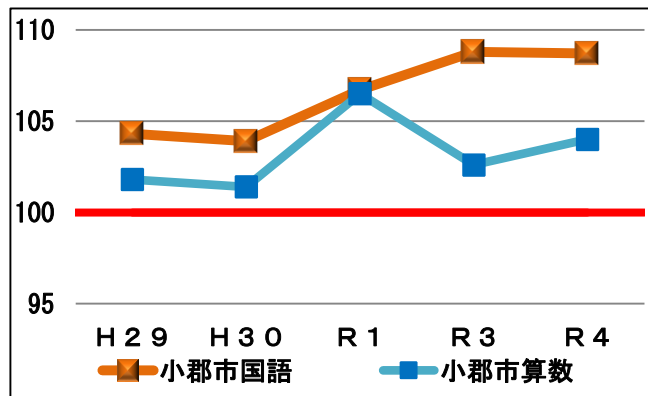
【市内中学3年生】



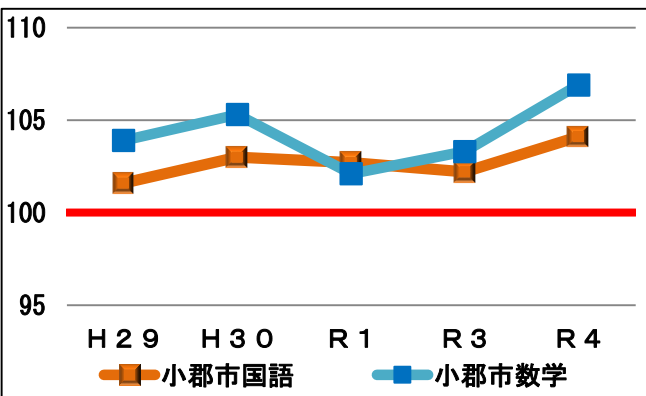
過去5年間の学力の経年変化 (R2は実施なし)

※全国の平均を100として表記(横の太線が全国平均)

【図2】 【市内小学6年生】

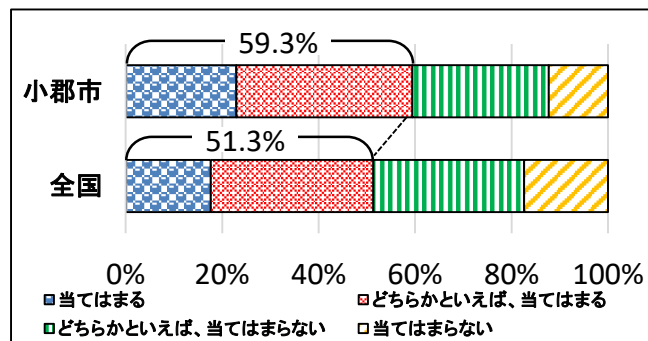


【市内中学3年生】

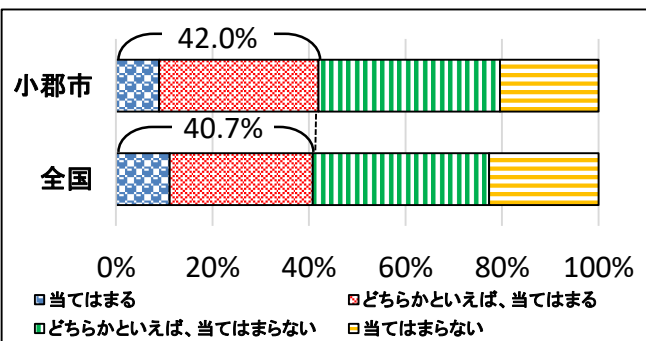


児童生徒質問紙「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」

【図3】 【市内小学6年生】



【市内中学3年生】



小郡市の小学校・中学校では、図1の調査結果のように、国語、算数・数学、理科の全ての教科において全国平均を上回りました。また、図2の経年変化のように、児童生徒の学力は向上傾向にあります。これは、調査結果を検証改善し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を重ねてきた学校の取組の成果であると考えます。

また、図3のように、「地域や社会へ貢献しようという思い」が、全国値よりも上回っています。これは、各学校運営協議会を中心に学校と地域・家庭が協働し、地域での様々な場の中で、子どもたちの「郷土を愛する心」や「地域貢献への志」を育てていただいている結果であると考えます。

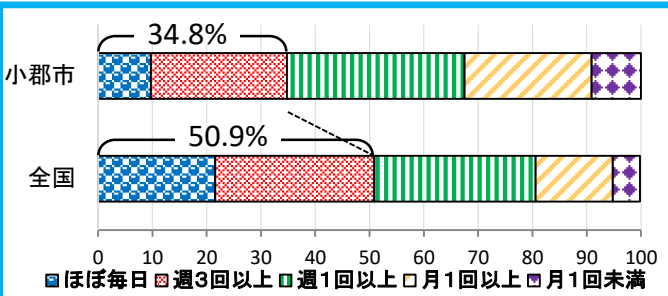
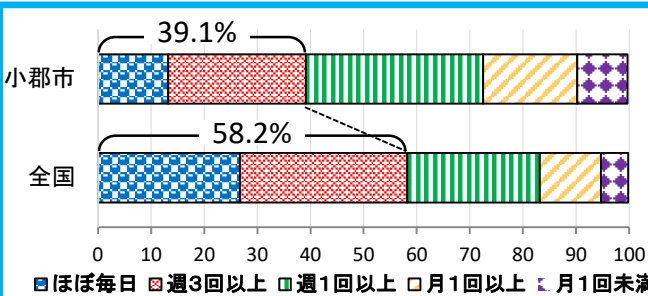
「児童生徒質問紙」の結果から見える本市の課題

調査の結果、次のような項目で全国平均を下回り、課題が見られました。

【昨年度までの授業におけるICT活用】

【市内小学6年生】

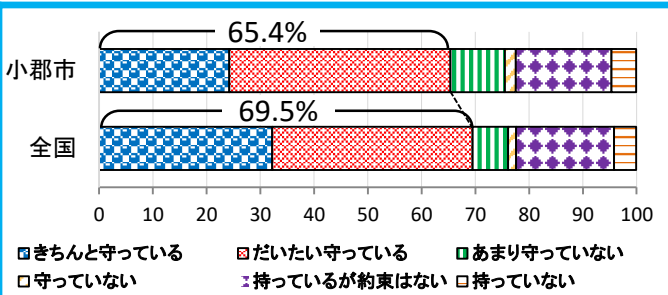
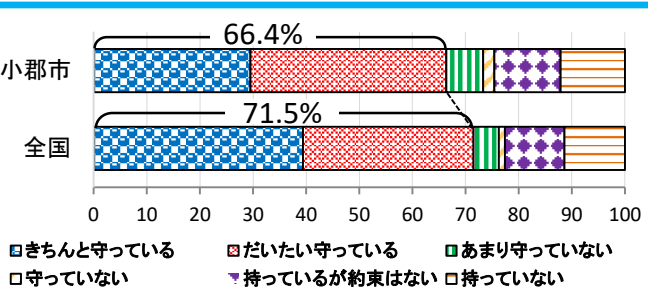
【市内中学3年生】



【携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方についての家庭での約束】

【市内小学6年生】

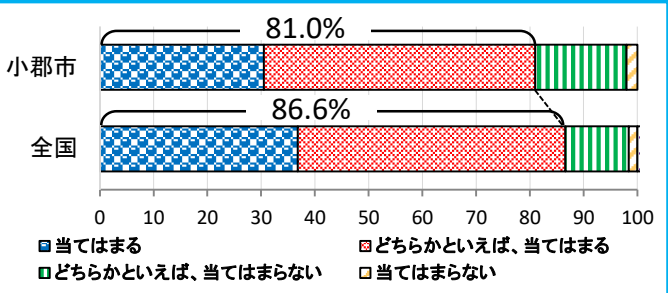
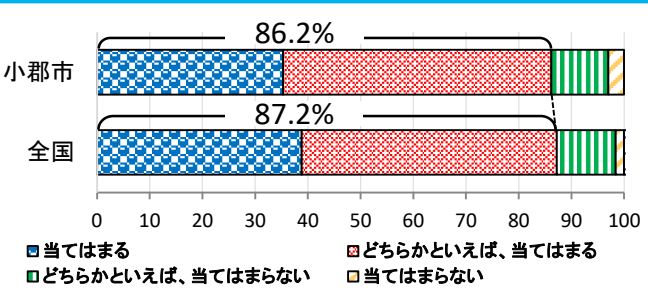
【市内中学3年生】



【自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている】

【市内小学6年生】

【市内中学3年生】



小郡市における今後の取組

小郡市では、上記に紹介しました子どもたちのよさ・課題を踏まえ、学校、家庭、地域三者で協働して、子どもたちの「未来に向かい 未来を拓く力」を育ててまいります。

市の取組

- ☆ICT教育推進のための環境を整備し、学びを深めるためのICTの効果的な活用を支援します。
- ☆デジタルシチズンシップの観点で、情報を扱う際に正しく考え、判断することの大切さを啓発します。
- ☆「いadak」→「いども」→「िकास」という学びのプロセスを大切に教育を進めます。

学校の取組

- ☆タブレット等のICTを日常的かつ効果的に活用して、授業改善を図ります。
- ☆自分や人を守る立場から、安全に正しく情報を活用できるようにするための態度を育てます。
- ☆自分で考えたり、挑戦したりする場面を設定し、目標に向かう心を育てるとともに、基礎学力を高めます。

ご家庭へのお願い

- 以下について、ご協力をお願いします。
- ☆携帯電話等を使用する際の家庭でのルールを決めて、使い方確かめ合う。
- ☆家庭での会話やふれあい、読書などの時間をつくる。
- ☆最後まで粘り強く取り組むことができるように見守り、励まし、頑張りをほめる。

地域へのお願い

- 以下について、ご協力をお願いします。
- ☆学校の学習や活動へのボランティアのご協力（ICT支援、丸付け等）。
- ☆地域において子どもたちが貢献できる場や居場所づくり。
- ☆子どもたちのよさや頑張りを認め、称賛する声かけ。